



特産品

中世の食

益田家文書(東京大学史料編纂所蔵)に記載のある、益田藤兼、元祥親子が毛利元就に振る舞った祝い膳を再現したもので、中世の古利萬福寺にて完全予約制で試食体験が可能。

☎0856-31-0331
(益田市観光交流課)

源氏巻

薄きつね色に焼き上げた生地に、上質のこし餡を巻き平らに焼いた和菓子。町内で何種類もの源氏巻が販売されている。

☎0856-72-1771
(一社)津和野町観光協会



益田市戸田町
☎0856-22-7120(益田市観光協会)

グラントワ

美術館と劇場が一体となった全国でも珍しい建物で、屋根や外壁には鳥根興が誇る石州瓦が約28万枚使用されている。

☎益田市有明町 5-15
☎0856-31-1860



森鷗外記念館

幼少期を津和野で過ごした明治の文豪・森鷗外。旧宅に隣接した記念館では遺品や直筆原稿などを見ることができる。

☎津和野町町田イ 238
☎0856-72-3210



大井谷の棚田

約600年前、室町時代から藩政時代にかけて築かれた石垣づくりの水田で「日本の棚田百選」にも選ばれています。

☎鹿定郡吉賀町柿木村白谷
☎0856-79-2213
(吉賀町役場 産業課)



衣貝須神社
小浜海岸の海は碧く美しく、日本人の巨匠・東山魁夷が皇居の障壁画「朝明けの潮」のモデルとしたことで有名な場所。

★萬福寺

正面の心字池、緩やかな築山、渦巻き状に広がる石組群が、水墨画を思わせる穏やかな寺院庭園は雪舟が作庭したと言われ、国指定史跡及び名勝となっている寺院。

☎益田市東町25-33
☎0856-22-0302

太鼓谷稲成神社

日本五大稲荷の一つ、参道に連なる1000本近い朱の鳥居が壮麗です。

☎津和野町後田40
☎0856-72-0328



津和野百景図

平成27年日本遺産認定のきっかけとなった幕末の津和野の風景や営みを描いた100枚の絵、日本遺産センターで解説も受けれます。

☎0856-72-1901
(日本遺産センター)

益田・津和野・吉賀

Masuda
Tsuwano
Yoshika

慶応2年(1866)、長州軍と浜田藩が戦った「石州口の戦い」の地です。大外様の長州藩、浜田・松江の親藩との間には挟まれた小外様の津和野藩主、亀井茲監は常に国の内外において情勢を探り、中立的立場で藩を守りました。

堀庭園★

江戸時代、世ヶ谷銅山の年寄役を務めた名家・堀氏の名園。四季折々の風景が美しく、特に紅葉の名所として知られる。

☎津和野町邑輝795
☎0856-72-0010

扇原関門★

浜田藩と津和野藩の境界で、「石州口の戦い」の火ぶたが切られた場所。大村益次郎率いる長州藩と、浜田藩などの幕府軍で激しい銃撃戦となり幕府の敗北が決定的となる。

☎益田市多田町
☎0856-22-7120(益田市観光協会)

石見エリアの特徴

石見地方に伝わる伝統芸能。神事でありながらエンターテインメント性が強く、ストーリーも明解です。石見各地で定期公演があり、1年を通じて迫力満点の石見神楽を楽しめます。



神楽めし

石見の魚・肉・特産品を、石見の良質な食材をふんだんに使った地産地消の多彩なメニューを取りそろえ、石見各地で楽しめます。



三江線

島根県津和野市と広島県三次市を結ぶJR三江線。江の川の流れとともに、春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪景色、車窓からの美しさは格別です。

☎0855-72-0015
(三江線活性化協議会)

特産品

A級グルメ

おいしい農産物が育つ邑南町では「食」と「農」を切り口に、生産者さんが丹精込めてつくったものを料理人が愛情を持って調理し、それを美しい自然のなかで味わう取り組みを称して「A級グルメ」としています。

☎0855-95-2369
(邑南町観光協会)

特選水産ブランド「どんちっち」

浜田市の特選水産ブランド「どんちっち」は漁獲時期、サイズ、脂質などの規格を満たした「アジ」「ノドグロ」「カレイ」の3魚を選定しています。

☎0855-25-9520
(浜田市水産物ブランド化戦略会議)

赤てん

浜田のソウルフード「赤てん」、ピリッと辛く、お酒のおつまみや食卓に大活躍です。やみつきになるスパイシーな美味しさがたまりません。

☎0855-28-7133
(浜田市観光協会特産品販売所)

山くじら

山くじらは、天然のイノシシの精肉で、独自の処理により臭みが少なく良質なタンパク質も豊富で人気の食材です。

☎0855-75-1214
(美郷町役場産業振興課)

エゴマ

川本町の特産品である健康食材「エゴマ」を使ったドレッシングです。相橋果汁たっぷりのボン酢のほか、塩だれ、焼き肉だれ等があります。

☎0855-72-0636
(川本町観光協会)

三瓶バーガー

島根県産の牛・豚肉を使い、つなぎを一切使用していないパテを、三瓶山をイメージしたパンズにはさんだ逸品です。犬と同伴できるドッグカフェもあります。

☎大田市三瓶町多根1125-2
☎0854-86-0200

特産品

石見焼体験

良質な粘土で作られ、高温で焼き上げる「石見焼」。マグカップやお皿など、日常使いにピッタリな作品作りを体験できます。

☎①石州嶋田窯(江津市後地町1315)
☎②石州宮内窯(江津市二宮町2211-3)
☎③ふれあい陶芸工房(江津市波子町イ767-2)

石州和紙会館

ユネスコ無形文化遺産に指定された伝統工芸品の石州和紙の展示や販売があり、紙すき体験もすることができます。

☎浜田市三隅町古市場 598
☎0855-32-4170

しまね海洋館 アクアス

約400種1万点の生物を展示する中国・四国最大級の水族館です。本館の他、新フロアカプセルやペンギン館もお楽しみいただけます。

☎浜田市久代町 1117-2
☎0855-28-3900

三瓶自然館サヒメル

島根県の大地の成り立ちと生き物を紹介した展示やフラネタリウム、毎週土曜日の夜には天体観測会を開催しており、お子様から大人まで楽しみながら学べる博物館です。

☎大田市三瓶町多根1121-8
☎0854-86-0500

仁摩サンドミュージアム

漫画「砂時計」の舞台になった砂と時計の博物館。高さ5mの世界最大の1年計砂時計が、1tの砂を落し静かに時を刻んでいます。ガラス張りのピラミッドの外観が目印です。

☎大田市仁摩町天河内975
☎0854-88-3776

浜田・江津・邑南

久喜・大林銀山

16世紀の中頃、毛利元就により本格的な開発が始められたと考えられる銀山です。約500年の中に1500箇所以上の採掘跡や、製錬に関わる遺構が確認されています。毎月第1日曜日に、無料観光ガイドも実施されます。

☎久喜町久喜・大林
☎0855-95-2369(邑南町観光協会)

石見量ヶ浦

国指定の天然記念物で1600年前の海底の地層や、貝の化石を見ることができる天然の博物館で、壮大な景色も楽しめます。

☎浜田市国分町
☎0855-24-1085
(浜田市観光協会)

津和野百景図

平成27年日本遺産認定のきっかけとなった幕末の津和野の風景や営みを描いた100枚の絵、日本遺産センターで解説も受けれます。

☎0856-72-1901
(日本遺産センター)

世界遺産石見銀山★

平成29年7月に世界遺産登録10周年を迎える、石見銀山は、1526年博多の豪商神屋寿禰に発見されて以来、約400年にわたって採掘された日本を代表する鉱山遺跡です。

☎大田市大森町
☎0854-88-9950(大田市観光協会)

大田・川本・美郷

幻の浜浜鉄道今福線

戦前と戦後の二度にわたり工事が中断され、開通されることがなく幻となった遺構が当時のままの姿で点している新たな名所です。

☎浜田市宇津井町
☎0855-25-9531(浜田市観光交流課)

豊栄神社★

戦国大名として有名な毛利元就を祭神とする神社です。慶応2年(1866年)、大森に進駐した長州軍が元就の木像が祀られていたことに感激し、建立されました。

☎大田市大森町
☎0854-88-9950(大田市観光協会)

三瓶山

主峰の男三瓶山(標高1126m)をはじめとする6つの峰が家族のように寄りそい連なり、登山やハイキングを楽しめます。国引き神話の舞台としても知られています。

☎大田市三瓶町
☎0854-88-9950(大田市観光協会)

大田川本

大田川本は、大田川が流れる美しい風景が特徴です。四季折々の景色が美しく、特に紅葉の名所として知られる。

☎大田市大森町
☎0854-88-9950(大田市観光協会)